



平成 27 年 3 月 26 日

各 位

会社名 三井金属鉱業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 仙田 貞雄  
 (コード番号 5706 東)  
 お問合せ先 IR・広報室長 境 克也  
 (TEL. 03-5437-8028)

### 減損損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、持分法適用関連会社において減損損失を計上する見通しとなりました。この減損損失および最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 2 月 6 日に公表した平成 27 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせします。

#### 記

#### 1. 平成 27 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	470,000	27,800	28,500	19,000	円 銭 33.27
今回修正予想 (B)	473,000	29,800	18,500	14,000	24.51
増減額 (B - A)	3,000	2,000	△10,000	△5,000	
増減率 (%)	0.6	7.2	△35.1	△26.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	441,046	25,743	13,656	3,662	6.41

#### 2. 修正の理由

前回発表予想(平成 27 年 2 月 6 日)に対し、特に機能材料セグメントにおいて各事業が総じて好調に推移したことにより、売上高および営業利益は増加する見込みですが、一方で、銅鉱山開発事業に係る減損損失(\*)約 127 億円等により、経常利益は減少する見込みです。また、当期純利益についても、持分法適用関連会社に係る持分変動利益の計上等の増益要因はあるものの、前述の減損損失の影響により、減少する見込みであることから、上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

<（\*）銅鉱山開発事業に係る減損損失の計上について>

（1）対象資産

当社の持分法適用関連会社であるパンパシフィック・カッパー株式会社（\*1）（本社：東京都千代田区 以下「PPC 社」）が、その子会社である SCM Minera Lumina Copper Chile（\*2）（本社：チリ国サンチャゴ）を通じて運営しているカセロネス銅鉱山関連資産。

（\*1）当社および JX 日鉱日石金属株式会社の共同出資による銅事業会社

（\*2）PPC 社が、三井物産株式会社と共同出資している鉱山運営会社

（2）減損損失の計上額：約 127 億円

（3）減損損失発生の理由

チリ国において運営するカセロネス銅鉱山については、昨年 5 月に銅精鉱の生産を開始したものの、銅精鉱生産工程より生ずる廃さいに係る堆積場の整備に時間を要していることなどから、現在、フル操業体制への移行が遅延しています。これを主因として同鉱山に係る事業用資産について減損損失を計上する予定です。

以 上